

麦の会だより

「新年度にあたってご挨拶」 社会福祉法人緑の風 理事長 武田和久

コロナ禍に想うこと

今、私たちは新型コロナウイルスの戦火の真只中にいます。

この歴史的な厄災によって、あらゆることが地球規模で停滞し、価値観から生活スタイルまで、大きく変化することを余儀なくされています。また、この「コロナ禍」は、国、社会、人の分断を招くとも言われており、世界中でエゴをむき出しにして自己防衛し、更に誹謗、中傷に躍起になっている国や人々の姿も垣間見えます。一方では、お互いに助け合い、励まし合いながら、人との絆が深まっているのも事実で、震災、台風などの厄災というものは、いつの時でも私たちに新たな気づきを与えてくれます。

今回の「コロナ禍」で最も心配なことは、それぞれの国の経済に与える打撃が極めて深刻であり、この打撃の連鎖が当面続いていき、職を失う人、就労できない人が増えていくということです。今年 4 月時点での日本の失業率は 2.6%、完全失業者数は 189 万人（総務省統計局調）でしたが、コロナ禍の影響を受け、今後の失業率は 10%台に、約 600 万人が職を失うのではとも予測されています。

就労支援を中心に支援活動を続けてきた緑の風では、これまで、25 名の利用者が就労しています。その後も、職場への定着支援を継続して行っていますが、今後、失職する利用者が出てくる可能性があることは否めません。従って、緑の風としては、就労した利用者の現状を把握し、もし職を失った場合は、緑の風が受け入れ、支援していくことを考えなければなりません。また、特別支援学校の卒業生で就職できない人が増える可能性もありますので、緑の風が卒業生を受け入れ、就労支援していくケースも増加すると予想されます。

このような状況を踏まえ、今一度、夫々の事業所で就労支援活動の体制を整えることが、大切な課題であると思っています。

日本では緊急事態宣言が全国的に解除され、街に人が集まり始めましたが、徹底した感染予防対策の下、日常生活を取り戻すための試行錯誤が続けられることとなります。緑の風では、利用者、支援者の十分な健康管理の下、夫々の現場でコロナ感染の予防措置をとり、安全性を確保して支援活動にあたるよう努力してまいります。また、事業所外からのコロナ流入についてのリスク管理の徹底、感染を防ぐ行動への保護者への理解と協力を得ることも大切です。

私たちは、新型コロナウイルスから最早、逃れることはできず、今後はこのウイルスとの共存社会を創り上げていかねばなりません。三密を避けながら、元気に、明るく、そして余り恐れずにこの「コロナ禍」と仲良く付き合っていきましょう。

長坂の春をお届けします



施設前庭の枝垂れ桜



4月上旬の南アルプス



クラインガルテン（果樹園）
ブルーベリーとハケ岳

施設西側（生態園）の花たち



麦の会 総会

麦の会 東京連絡先 TEL:03-3556-3056
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1
ニュー九段ビル 榊緑風舎 気付

2019 年度事業活動報告

4/20	麦の会総会 出席者 26 名 2018 年度の決算報告、2019 年度の予算承認、他
10/下旬	麦の会オリジナルカレンダーの製作、販売 カレンダーを長坂センターへ 110 部、 千代田センターへ 80 部 贈呈
11/19	「緑の風」に援助金 450 万円を贈呈
2020 年 2/29	麦の会主催 会員懇親会「麦の会のつどい」は 新型コロナウイルス感染防止のため開催を延期 以上の活動により 2019 年 3 月 31 日現在会員数は、 個人(正・準)会員：528 名、法人会員：21 社

2019 年度決算報告

2018 年度からの繰越金	4,723,203
収入の部	
項 目	金額(単位:円)
年会費	2,886,000
麦の会のつどい預り金	874,000
商品売上	738,940
利息、雑収入	35,034
合 計	4,533,974
支出の部	
項 目	金額(単位:円)
援助金	4,500,000
麦の会のつどい支出	57,930
商品企画・製作	628,905
事務諸経費	335,449
合 計	5,522,284
会費前受金預かり分	235,000
2020 年度への繰越金	3,969,893

2020 年度事業活動計画

- 麦の会が主体となつて行う事業活動
 - 緑の風への援助金
後援会の設立趣旨に沿って、緑の風へ 300 万円の資金援助をする
 - 麦の会会員懇親会「麦の会のつどい」
2020 年 2 月 29 日(日)開催予定であった会員のつどいは新型コロナウイルス感染対策のため延期し、同会場・同内容にて実施する
日時： 未定
場所： 赤坂・パークヒルズクラブ
(緑の風活動報告、ミニコンサート、会食)
 - オリジナルカレンダーの製作、販売
- 麦の会が応援する事業活動
「緑の風」が支援する発達障害支援事業に参加
- その他
麦の会の会報「麦の会だより」年 3 回の定期発行を継続

2020 年度予算計画

2019 年度からの繰越金 (麦の会のつどい預り金を除く)	3,095,893
収入の部	
項 目	金額(単位:円)
年会費(前受け金を除く)	2,712,000
麦の会のつどい収入	1,225,000
商品売上	700,000
合 計	4,637,000
支出の部	
項 目	金額(単位:円)
援助金	3,000,000
麦の会のつどい支出	1,207,000
商品企画・製作	647,000
事務局経費	370,000
合 計	5,224,000
会費前受け金預かり分	200,000
2021 年度への繰越金	2,708,893

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、4 月 18 日に予定しておりました緑の風のサンクスデーが中止となり、それに伴い同日予定しておりました麦の会総会は、参加者、関係者の皆様の健康と安全を第一に考慮した結果、中止と致しました。よって、2020 年度事業活動計画及び役員改選は紙面での審議となりましたのでご了承願います。

今年度の体制が右のように決定致しましたのでご報告いたします。

今後とも皆様方の一層のお力添えをよろしくお願いたします。

2020 年度役員紹介

会 長：滝鼻 卓雄
副会長：橋本 修三(総括)
竹田 禎久(会計)
水野 明(事業)
角南 蓉子(事業)
中井 俊機(長坂担当)
監 事：三羽 正人

長坂事業所より

《働き続けるための支援事業》

～ 雇用の状況調査を実施～

令和2年の正月休み、中国で「謎の肺炎流行」という記事を読んではいましたが、これが数か月後「新型コロナウイルス」となって、日本や諸外国にこれほど影響を与える事態になるとは、全く思ってもみませんでした。4月の緊急事態宣言後は、様々な自粛要請、感染拡大防止対策に伴い、仕事や生活の仕方を急に変えなくてはならない状況になりました。

緑の風から送り出したOB/OGの人達の仕事は・生活は・大丈夫だろうか？急な変化に対応できずに困っている人はいないだろうか？とても心配になり5月上旬、OB/OGに電話で連絡を取り13名（ご家族の協力もいただき）から話しを聞くことができました。

業種	総数	通常業務	自宅待機	給与補償	備考
観光業	4	1	3	◎	休業手当6割支給
野菜生産	5	5		◎	
花苗生産	1		1	◎	休業手当6割支給
特例子会社	3	1	2	◎	1名/自宅にてテレワーク
	13	7	6	全員支給	

観光業は県や国の要請もあり、緊急事態宣言後臨時休館している所が多く、1～2か月は自宅待機となり、その間は家で家事手伝いをしているということでした。逆に、椎茸や葉物野菜を生産している会社は、通常稼働している所がほとんどで、公共交通機関を使用しないよう会社側で送迎をおこなうなど予防に努め、生産・出荷を続けているとのことでした。実家暮らし、1人暮らし、ライフスタイルは様々ですが、みんな落ちついて暮らしていることも確認できて安心しました。コロナ禍を原因に契約解除・解雇された人はおらず、給与もできる限り補償していただけていました。各就労先企業、事業所の皆様に感謝しています。

今後は「新しい生活様式」を受け入れつつ、これからの就労支援の在り方も変化していくように感じます。経済の先行きが不安な中、障害のある人たちの雇用機会が減少しないことを願います。

（長坂事業所 木田友紀子）

千代田事業所より

《緊急事態宣言下のJSPちよだ》

この度JSPちよだ所長に就任致しました今牧功です。麦の会の皆様にはいつも本当にお世話になっております。本来であれば私から新任のご挨拶、あるいは前任で3月末に退職した中村前所長（現静岡県東部発達障害者支援センター 副センター長）から退任のご挨拶を、それぞれ載せるべきところですが、今回は皆さまにもご心配いただいた、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下でのJSPちよだの様子についてご紹介致します。

まずは麦の会の皆様には、本原稿執筆時点でJSPちよだ関係者に、新型コロナ感染は発生していないことをご報告致します。

緊急事態宣言発令後、多くの業種がテレワークや、休業要請を受ける中、JSPちよだのような社会福祉施設は「社会生活を維持するために必要な施設」として機能の維持を求められました。当初は情報も少ない中でなんとかその日乗り切る、という日々でした。そんな中、3密回避の観点から、通所日数調整のお願いに踏み切り、ご本人や保護者の皆様には暖かい御理解を頂きました。

企業からの受注作業や、さくらベーカリーのパン販売会も全てキャンセルとなり、通所されている方々の作業や活動が途切れないよう、スケジュールを組み直し工夫をしてきました。

現在は完全稼働に向け、食堂のレイアウトを大きく変更しました。この取り組みについては別途ご紹介する機会もあるかと存じます。

まずはまだまだ気が抜けない状況下ではありますが、東京都のロードマップによる「新しい日常」を踏まえ、安心安全に通所いただくための創意工夫を図り、感染予防に向けて引き続き最善の努力を続けてまいります。

（JSPちよだ 今牧功）

社会福祉法人緑の風 平成31 / 令和元年度事業報告及び決算報告

緑の風理事会が3月と5月に、定時評議員会が6月に行なわれ、前年度の事業及び決算報告、今年度の事業計画及び収支予算について審議の結果、いずれも原案通り承認されました。以下、概要をご報告致します。

【平成31 / 令和元年度 事業報告】

法人本部では、新事業「発達障害に関わる啓発・人材育成事業」を開始し、初年度として外部専門家と5つの共同事業を実施しました。長坂事業所、JSPちよだ共に就労移行サービスの利用者がなく、長坂では生活介護、JSPちよだでは就労継続B型と生活介護を中心に運営しました。さくらベーカリーは、運営体制変更、店長交代、機器故障、新型コロナウイルスなどの影響により減収減益となりました。

【平成31 / 令和元年度 決算報告】

- ◆ 法人本部：新事業予算として寄付金収入増・委託費増。
- ◆ 長坂センター：就労移行の利用がなく、生活介護のみとなったため収入減、経費圧縮により収支若干改善。
- ◆ JSPちよだ：重度障害の利用者に対する給付費収入増も収支としてはほぼ昨年同様。
- ◆ さくらベーカリー：収入減や体制変更の影響で収支赤字。

資金収支計算書		(千円)	
	R1年度決算	R2年度予算	
収入	193,749	194,600	
支出	193,157	194,600	
収支	592	0	

— 働くのに必要なこと —

もう四半世紀以上も前のことになるが、ぼくがまだ現場で利用者の支援をしていたころ・・・
 支援の先端をいく大人の施設では、普通の暮らし・・・、普通の大人の暮らしをめざして、障害があっても
 働こう、という支援が進められていた
 知的障害の施設、つまり知的障害がある人たちが利用する
 入所施設だろうと、通所施設だろうと、利用者には知的障害がある
 そして、昔も今も、施設を利用する人たちの多くは、重度の障害者である
 つまり、難しいことはよくわからない、という人たち
 「仕事をする」と言っても、銀行員や商社マンになるのは難しい
 そのころ言われていたことは、知的障害の人たちに向いている仕事は、単純作業で繰り返す仕事
 工場や倉庫、お店で働くのが向いている、と
 簡単に言えば、ブルーワーカー職である
 彼らに向いている仕事・・・、と言われながら、
 それでも、要求の水準は高く、「あれができないと困る、これができないと雇えない」と、足切りのような、
 職業技能や職業態度が求められていた
 「なんだ、世の中の要求は厳しい、これじゃ重度の障害者はやっぱり社会では働けない」と思い始めたころ、
 アメリカで進められている「サポータイドエンプロイメント」という仕組みに行き当たった
 その思想、「障害者は働けないのではない、働けるような環境を用意していないだけ、できる仕事を、できる
 ように組み立てる支援があれば、彼らも労働者として活躍できる」というものだった
 極端に言えば、彼に合わせたコミュニケーションツールと膨大な生活の支援がなければ、世界的な宇宙物理学者
 ホーキング博士の仕事は成り立たない、とすることである
 ホーキング博士だけが支援を受けるべき障害者ではない
 働く権利は、すべての障害者にある
 その詳細、次回に続く・・・

お知らせ

2021年 カレンダーの販売

1部 1000円 (+送料 84円～)

※10月より販売開始です



麦の会主催の会員懇親会「麦の会のつどい」

日時：追ってご連絡いたします

場所：赤坂・アークヒルズクラブ

* 緑の風活動報告、服部芳子さんのバイオリン演奏と会食
 (ビュッフェ形式で着席です)

会員ご継続のお礼とお願い

皆様のいつも変わらぬ温かいご支援に感謝申し上げます。これからも緑の風を支える力となっていただくために、1人でも多くの方のご継続をお願いいたします。会費納入は、下記の口座へお願いいたします。(口座名義は、どちらも「麦の会」)

銀行振込口座 : 三菱UFJ銀行 神保町支店 (普) 2224536

郵便振込口座番号 : 00160-1-613953

発行元：麦の会 事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 ニュー九段ビル (株)緑風舎 気付
 TEL : 03-3556-3056 FAX : 03-3556-3057

会費等の振込先 郵便振込 00160-1-613953 「麦の会」
 銀行振込 三菱UFJ銀行 神保町支店 (普) 2224536 「麦の会」